



絵本と開く未来 / 2024.12 ラオスの小学校にて

理事長挨拶 / 理事長 帖佐理子

サバイディ！（ラオス語で「こんにちは」）やっと猛暑が過ぎ、朝夕の空気に秋の気配が感じられる季節となりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。

最近、ウクライナの戦争による航空路の変更で、一部の医薬品が入手しづらくなるという影響が出ています。私たちの日常の品々が、実は世界規模の流通に支えられていることを、あらためて実感させられます。地球温暖化だけでなく、世界情勢の変化は、日々の暮らしに少なからず影響を及ぼしています。日本でも物価上昇や生活の厳しさが話題となっていますが、ラオスも同じ状況にあります。高速道路やショッピングモールが整備される一方で、その陰に取り残される人々がいることは、現地を見て初めて気づかされる現実です。

“じゃっど”が訪問する学校は一見変わらないように見えても、教師の授業方法や子どもたちの学びの姿勢が少しずつ変化しています。村の生活にもスマートフォンやSNSが入り込みつつありますが、電気・水道・トイレといった基本的な設備は依然として十分ではありません。「子どもたちが元気に学校に通えるように」というじゃっどの原点を大切にしながら、私たちは改めて“学校保健”のあり方を見つめ直しています。

また、これまで事務局を支えてくださった方々のご退職により、会計・事務処理などでご迷惑をおかけしており申し訳ございません。長年のご尽力に心より感謝しつつ、今後丁寧に対応してまいります。

今回の「じゃっど新聞」では、活動報告に加え、ラオスの日常や文化にも触れていただける内容をお届けしています。新連載として、小幡理事によるコラムも始まりました。ぜひお楽しみください。

令和7年度じゃっど活動記録 2025/4/1-10/31

(1) 第33回定期総会

令和7年5月17日(日)15:00-17:00 薩摩川内市国際交流センター2F 会議室 AB

(2) 臨時理事会

令和7年6月7日(土)14:00-15:00 じゃっど事務局

(3) 甲南高校説明会

令和7年7月3日(木)15:45-16:45 甲南高校

(4) 臨時理事会

令和7年8月2日(土)14:00-15:00 じゃっど事務局

(5) じゃっどスタディツアー2025 第1回事前説明会

令和7年8月23日(土)14:00～17:00 せんだい SS プラザ第305 研修室

(6) 国際交流フェス 3020 出展

令和7年10月4日(土)10:00～15:00 薩摩川内市国際交流センター

— 総会 ラオス支援の方向性を再確認 —

今回の総会では、ラオス側代表の Ms SILAVANH VONGPHOSY 氏がオンラインで参加し、2024年4月から2025年3月までの活動状況を報告しました。報告によると、ビエンチャン市および県内の4つの小学校への支援を継続し、教育環境や児童の健康支援に取り組みました。

2024年12月には、じゃっどのメンバーと学生たちがラオスを訪問。サムケ小やサイモンコン小での交流、ムアンカオ小への浄水器設置、郡病院の視察、ホームステイなどを通じて、現地の教育や生活文化、保健システムについて理解を深めました。

また、令和5年度（2023年度）の事業報告および決算報告が承認され、令和7年度（2025年度）の事業計画と予算案も採択されました。なお、会計報告の一部に修正が必要との県からの指摘があり、再提出予定であることも報告されました。

議案討議では、「現地保健医療活動の強化」を中心テーマとして議論が行われました。これまで主に学校施設整備などのインフラ支援を行ってきましたが、今後は原点に立ち返り、公衆衛生や母子保健、教師トレーニング、予防接種支援などの保健医療分野を重視していく方針が示され、全会一致で採択されました。

さらに、ラオス側銀行口座をドル建てに変更する提案や、国内でのスタディツアー募集、講演会・パネル展・SNSによる広報活動の推進も確認されました。

総会の最後には理事による閉会のあいさつが行われ、今年度の新たな歩みへの決意を新たにしました。



ラオス事務局からの活動計画

現地のニーズを踏まえた 2025 年度支援計画

ラオス事務局では、現在支援中の小学校および新規支援予定校と連携し、教育環境改善のためのニーズ調査と作業計画の確認を行いました。

相談に参加したのは、以下の学校です。

- サイモンコン小学校 (Xaymongkhoun)
- サムケ小学校 (Samket)
- フォン・ミー・ヌア小学校 (Phone Mee Neua)
- ムアン・カオ小学校 (Mouang Kao)
- そして、2025 年度より支援を開始予定のビエンチャン市ハドサイフォン郡の新設小学校 2 校

教育資材や学用品の整備を通じて、子どもたちの学びの場をより良いものにすることを目指しています。

ヌーヌー ラオス側代表

小学校	生徒数	教師数	事業内容
サイモンコン Xaymongkhoun	80 名 男子 43 女子 37	5 名 女性 5 名	スポーツ用品、衛生用品、薬剤
サムケー Samket	150 名 男子 90 女子 60	6 名 女性 6 名	スポーツ用品、衛生用品、薬剤
フォン・ミー・ヌア Phone Mee Neua	107 名	6 名 女性 6 名	スポーツ用品、衛生用品、薬剤
ムアン・カオ Muaong Kao	270 名 男子 140 女子 130	11 名 男性 2 名 女性 9 名	スポーツ用品、衛生用品、男子トイレ修理
New School 1			スポーツ用品、牛乳
New School 2			スポーツ用品、牛乳

じゃっどのロゴマークが新しくなりました！



ラオ語で記された文字には、それぞれ次の意味が込められています。

- ・ホンカン：プロジェクト
- ・ピエット：お医者さん
- ・ノイ：小さな

ラオス語は日本語と異なり、後ろから形容する言語です。そのため、文章全体で「小さなお医者さんプロジェクト」という意味になります。

ラオスの想いをのせて、色鮮やかにリニューアル

NPO 法人じゃっどのロゴマークが、このたび新しく生まれ変わりました。

今回のリニューアルでは、元のデザインの形はそのままに、色をラオスの国旗カラーへと変更しました。

このロゴマークは、ラオスで活動する Douangdeuane（ドアン・ドゥアン）さんの娘さんがデザインしてくださったものです。心を込めて描かれた温かみのあるデザインは、じゃっどの活動の象徴として長く親しまれてきました。

これからも、ラオスと日本をつなぐ活動のシンボルとして、リニューアルしたこのロゴマークを大切にしていきたいと思います。皆さま、今後ともあたたかいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

じゃっどポロシャツが完成しました！

このたび、NPO 法人じゃっどのポロシャツが完成しました！胸元にはリニューアルしたロゴマークをあしらひ、背面にはラオ語で「サバイディ（こんにちは）」の文字と、象や子どもたち、学校のイラストがデザインされています。デザインを手がけたのは、神崎理事。背面には英語で Kagoshima JAPAN の文字も入り、国際的な繋がりを表現しました。

理事会では「毎年カラーを変えるのも良いね」との声があり、記念すべき第一弾はエンジ色に決定。

ラオス側のスタッフの皆さんにもお送りします。「かわいい！」と好評をいただいています。

もちろん、会員の皆さまも購入可能です。活動の一体感を高める、この新しいポロシャツをぜひお手に取ってみてください。



正面

背面

会員様限定！じゃっどオリジナルポロシャツ販売のお知らせ

NPO 法人 じゃっど オリジナルポロシャツ

生地：4.7 オンス スペシャルドライカノコポロシャツ（男女兼用）／UV カット・吸汗速乾・形態安定

シワが付きにくく、乾きやすい、繰り返し洗っても色落ちにくいイージーケアポロ！ポリエステル鹿の子を使用した、さらりとしたドライタッチの生地。表地は上品な光沢となめらかな風合いで肌ざわりも良く、汗冷えしにくいので快適なウェアで最高のパフォーマンスを実現。シワが付きにくく、乾きやすい、繰り返し洗っても色落ちにくいイージーケアが魅力です。



サイズ一覧（単位：cm）

	肩幅	身幅	着丈	袖丈
XS	41	43	60	19
S	45	48	65	20
M	47	51	68	21
L	49	54	71	22
XL	51	57	74	23
XXL	54	60	77	25
XXXL	57	64	80	26
XXXXL	60	68	83	27
5XL	63	73	85	28

■ お申し込み方法

上記一覧よりサイズをご確認のうえ、**お名前・希望サイズ・枚数**を明記して、事務局（info@jaddo.or.jp）までご連絡ください。

■ 代金： 1 枚 3,000 円（税込）

■ お受け取り方法： 誠に恐れ入りますが、郵送は行っておりません。事務局までお越しいただける方のみ、お渡し可能です。

国際交流フェス 3020 にブース出展いたしました！

～30周年×20周年の節目を祝う国際交流イベント～

2025年10月4日（土）、薩摩川内市の国際交流センターにて開催された「国際交流フェス 3020」に、じゃっどがブース出展いたしました。このイベントは、国際交流センターの開設30周年、そして薩摩川内市国際交流協会の設立20周年を記念して行われたものです。

じゃっどでは、久しぶりの物販ブースをメインに出展。みんな大好きなビアラオをはじめ、じゃっどラベルの焼酎、さらに理事長が厳選したラオス雑貨を多数並べました。

会員・スタッフの皆さんのご協力に感謝

出展準備では、値付けやディスプレイ小物の準備を会員の増岡さんが担当くださいました。当日は、会員の宮脇さん・牧田さん、スタディツアー2024参加学生の山崎さんにスタッフとしてご協力いただきました。また、古田理事・神崎理事・叶事務局担当もそれぞれ頑張ってくださいました。

おかげさまで、アルコール類は午前中に SOLD OUT！ラオス雑貨も「かわいい！」「お手頃！」と多くの方が足を止めてくださり、大変賑やかなブースとなりました。

当日の売上は、寄付として、全てラオス支援のために使用されます。

売上金額： 52,700 円

ブースでは「絵本翻訳体験コーナー」も同時に設置。

来場者の皆さんが日本語の絵本をラオ語に翻訳する体験を楽しみ、合計10冊の絵本翻訳が完成しました。

ご参加くださった皆さま、ありがとうございました。



スタディツアー-2025 始動

第 11 回目のスタディツアーの学生参加募集を行い、8 月 23 日（土）に第一回事前説明会を実施いたしました。

今年度の参加メンバーは、大学生 3 名、高校生 7 名、また福岡看護大学の先生が視察としてご参加して下さることになりました。今年もたくさんの出会いと学びの物語が生まれることでしょう。



2025 スタディツアー旅程表（仮） ※内容は未定です。

日付	活動	活動内容
12/25	08:00 福岡空港集合 10:00-12:55 福岡 - ハノイ VN357 16:40-17:40 ハノイ - ビエンチャン QV312	移動日
12/26	Xaymongkhoun 小学校、Samket 小学校 メコン川付近で昼食 ヘルスセンター、Hadsayfong 郡病院視察	小学校にて教師・生徒面会 ハンドオーバーセレモニー、生徒たちとの交流
12/27	Muang Kao 小、Phone Mee Neua 小訪問 ホストファミリー訪問、ビエンチャン県視察	小学校にて教師・生徒面会 ハンドオーバーセレモニー、生徒たちとの交流
12/28	Vang Vieng 市視察と活動	ビエンチャン県で農村の文化と生活体験
12/29	新校 2 校を訪問 ラオス美術館見学	新しい学校の教師と生徒に会い、将来の支援の可能性について話し合います
12/30	市内観光とショッピング 19:45-20:55 ビエンチャン - ハノイ VN920	
12/31	01:55-07:35 ハノイ - 福岡 VN358	移動日

連載コラム

ラオスの 風に ふかれて

— 第1回 ラオスは美味しいらしい… —

じゃっど理事 小幡順子

アジア関連本からの情報で、気になっていた国「ラオス」。そんなラオスに御縁があって「じゃっど」の活動に参加して、気付くと20回以上訪ねています。書籍やじゃっどツアー参加の皆さんから聞いていたとおり、ラオスは美味しい国でした。美味しいものは日本に帰ってからでも食べたい。しかしタイ料理の本はあっても、ラオス料理の本はない。タイ東北地方料理に近いのが、ラオス料理だと言われて、タイ東北地方料理本を参考に、パパイヤサラダや焼き鶏など、作っていたあの頃の私。食欲を満たすためとはいえ、偉かったぞ、私！

時は流れ、グローバルなこの時代、ついにラオス料理の本が出版されました。岡田尚也/小松聖児著「ラオス料理を知る、つくる」。ラオスを愛する京都在住の日本人お二人が、ラオスで作るのと同じになるよう、妥協することなく作り上げた本です。

そのこだわりが分かるのが、「ピン・ガイ(焼き鶏)」です。このピン・ガイ、「じゃっど」ツアーでも必ず一回は注文する、とてもメジャーな鶏料理です。この本による、つくり方①は、鶏を絞めるところから始まっています。そして血を抜くとか、羽根をむしるとか続きます。切り身となった鶏肉しか見たことのない世代には想像もつかないことでしょう。私は床下に放し飼いされた鶏を見て育った田舎者ですから十分想像がつきます。何なら血抜きのため庭木に吊るされた鶏を見て、「やった～明日は唐揚げだ～！」と喜んでいる子供でした。(5歳年下の弟は全く記憶にないそうです。)

なぜ鶏を絞めるところから記載してあるかと思いつつ、もう一度つくり方を読んでみると、胆嚢液が潰けダレとして欠かせない調味料のようです。なるほどあの何とも言えない風味は



ラオス料理を知る、つくる

岡田尚也/小松聖児著



胆嚢液だったのかと今回再読して気付きました。内臓もそのまま捨てることなく活用するラオス料理、さすがです。

ある年の、じゃっどツアー最終日に、参加者の高校生二人が、「小幡さんが言ってたとおり、ラオスはとっても美味しかったです。」と話しかけてくれました。「その美味しかった食事の中で、一番は何か？」と尋ねると、二人声を合わせて、「(ステイ先の)お母さんのゴハン！」と答えてくれました。

ガイド本にあるレストランの名物料理でなく、実際に味わうお母さんの作る家庭料理が美味しいラオス、ぜひ皆さんも美味しいラオスを訪れてみてはいかがでしょうか？



事務局 便り

年会費・ご寄付、令和7年1月1日～10月25日の間に頂いた分です。

感謝の気持ちと共に、ご協力くださった皆様のお名前を掲載させていただきました（以下敬称略）。

■年会費

【東京都】浅川浩己、岩田誠、岩崎直子、石川まり子、澤田達男、田良島美佳子、丹沢佳子、松山容子、
【埼玉県】高野真綾、
【千葉県】藤井洋、
【神奈川県】望月明子、
【愛知県】森田正人、
【福岡県】阿比留裕美、
【鹿児島市】狩俣久美、北村愛、栗山諒也、小畑愛花、小玉悠月、嶽崎俊郎、時村ヨシ、時村睦子、長友由紀子、新原勇希、馬場寛利、三重浩子、南武嗣、森谷春香、弓場秋信、米山史朗、
【いちき串木野市】有川清猛、小屋一美、野元善文、平屋四男、丸田小百合、
【薩摩川内市】岩下新、江口是彦、神崎侯至、神崎裕士、神崎弥生、川畑善照、上梶紅葉、坂元俊二郎、三本稔世、下尾崎健一、島田真里、田中律子、谷口征夫、立迫うらら、東篠勝代、中島清登、中村吉治、濱田時久、(株)ハートフル、萩原心咲、平山健介、本田文男、牧田弘子、宮脇美智子、南恭子、宮坂薫子、山下牟碓子、山下勝美、山本澄子、若松大介、若松しづ子
【さつま町】北原三登、
【大島郡】田邊ツル子、

■大口寄付金

【福岡県】姫野治子

■印刷協力 (株)アクティブ

【じゃっと会員の皆様へお願い】

いつもじゃっとの活動をご支援頂き誠にありがとうございます。会員様の会費納入状況（会費有効期限）は、宛名シール内に記載してありますので、ご確認ください（今年度の会費の有効期間は、令和7年4月1～令和8年3月31日です）※お振込みの際、用紙に内訳のご記入がない場合は、会費を優先に充てさせていただきます。

じゃっとの活動は皆様の会費に支えられています。

寄付金は税金控除の対象となります。

寄付金、随時受け付けております。

よろしくお願いいたします。

ゆうちょ銀行：01740-2-170105

口座名：特定非営利活動法人 じゃっと

【じゃっと会員になるには？】

ラオスの子どもたちが健康に育ち、教育を受けられるよう支援する会です。活動継続のため会員を募集しています。年会費2,000円。入会希望の方は、氏名・住所・電話番号を事務局までお知らせください。

じゃっとの情報を
タイムリーにお届けします♪

NPO_JADDO





じゃっど INFORMATION

◆愛子さま、ラオスご訪問へ◆

— 日本とラオスの友好親善を深める旅に—

日本の皇室・愛子さまが、11月にラオスを初の公式海外訪問先として訪問される予定と発表されました。これは、日本とラオスの外交関係樹立 70 周年を記念する行事の一環となるものです。期間中、愛子さまはラオスのトンルン国家主席との謁見や、記念式典へのご出席を予定されています。

日本とラオスの長年にわたる友好関係、そして教育・文化分野での協力を象徴する意義深い訪問です。

愛子さまのご訪問翌月である 12 月には、じゃっどの第 11 回スタディツアーが実施されます。

愛子さまのご訪問が、ラオスの子どもたちや教育関係者にとっても大きな励ましとなり、スタディツアー参加者にとっても「ラオスと日本のつながりを肌で感じる特別な時期」となることでしょう。

◆万博閉幕◆

— ラオスブース、文化と交流の架け橋 —

大阪・関西万博は盛況のうちに閉幕しました。ラオスブース（コモンズ館 D 展示ゾーン）は、訪れる人々に「文化」「自然」「持続可能性」のメッセージを伝える場として注目を集めました。帖佐理事長、帖佐事務局長、神崎理事も期間中にラオスブースを訪れました。



— ラオスことばひとつ —

ラオス語で「ありがとう」は「コップチャイ（ຂອບໃຈ）」と言います。笑顔でこの言葉を伝えるだけで、ぐっと距離が縮まります。次回のスタディツアーや国際交流の場で、ぜひ使ってみてくださいね。言葉は、文化をつなぐ小さな架け橋です。

■□編集部より□■

じゃっど新聞では、会員の皆様の「ラオスの思い出」や「心に残ったエピソード」も募集しています！どんな小さなエピソードでも大歓迎です。

ご意見・ご感想、投稿は下記メールアドレスまでお寄せください。✉ info@jaddo.or.jp

編集部一同心よりお待ちしております。



福岡のビアレストランで
見つけた
ビアラオ・ゴールド！



投稿：帖佐事務局長

編集後記

じゃっど新聞 85 号をお届けします。近年、事務局の高齢化により年 2 回発行が滞っていましたが、元気な神崎理事に活を入れて頂き、再びペースを取り戻しました。会員の皆様との繋がりを大切に、今後も継続して発行していきたいと思えます。決算報告書の修正では、ロートル(老頭児)事務局がご迷惑をおかけしておりますが、丁寧に対応します。ラオス側は若い世代が中心となり活気づいています。日本側も新しい世代の参加を歓迎し、情報発信を続けてまいります。(toru)